

# 推薦調書

大 学 名	小樽商科大学		大学番号	101001		
申請区分	区分 I	延長理由	1-③		区分中推薦順位	
氏 名	MONBUKAGAKU, TARO				個人番号	123456
生 年 月 日	19 80 年 12 月 4 日 ( 32 才)			性別	男	
国 籍	アメリカ合衆国		国籍コード	502		
現 住 所	東京都千代田区00-00					
電 話 番 号	03-0000-0000		E-mail	monka@pc.ac.jp		
進学先の研究分野・専攻分野 (日本語で記入)	研究分野	社会科学		専攻分野	国際経済学	
	特に	〇〇〇〇と×××における〇〇〇〇			に関する研究	
学位論文題目	学位の別	論文題目	×××に関する考察			
	修士					
申請時在籍機関 (日本語で記入)	大 学 名	文部科学大学		学部・研究科名	経済学研究科	
	専 攻 名	国際経済学		在籍年次	修士 (博士前期) 2年	
	指 導 教 員 名	〇〇 ××		プログラム番号 (大学推薦特別プログラムによる採用の場合)	10001	
2013年4月 (又は10月等) 在籍機関・希望奨学金支給期間等 (日本語で記入)	第一希望					
	大学名	文部科学大学		研究科名	経済学研究科	
	専攻名	国際経済学		進学年次	博士 (博士後期) 1年	
	2013年 4 月から		2016 年 3 月まで		36 ヶ月間	
	(又は 月から		(又は 月まで)			
	指導教員名 :	〇〇 ××		(未定の場合は入力不要)		
	第二希望					
	大学名	文部科学大学		研究科名	文学研究科	
	専攻名	文学研究科		進学年次	博士 (博士後期) 1年	
	2013年 4 月から		2016 年 3 月まで		36 ヶ月間	
(又は 月から		(又は 月まで)				
指導教員名 :	×× 〇〇		(未定の場合は入力不要)			
×	医歯学系又は獣医学系博士課程で、標準修業年限が4年間の場合は○					
×	一貫性博士課程であって、2年次から3年次への進級に伴う申請の場合は○					
学 業 成 績	優		(学業成績係数	2.80 )		
推 薦 理 由	〇〇〇〇××××...					
論 文 発 表 及 び 受 賞 歴 等	09.12.10 〇〇賞受賞 (団体名 : 〇〇〇〇) 08.09.02 論文「〇〇〇に関する考察」を公表 (〇〇〇調査会主催の〇〇研究会にて)					

## ＜推薦調書作成要領＞

- 1 使用できる文字は、数字は半角、英字は半角英大文字、カタカナは全角文字とする。
- 2 「大学番号」欄は別添の大学番号一覧に基づき入力すること。「大学名」は「大学番号」を入力すると自動的に表示される。
- 3 「申請区分」欄はプルダウン式になっている。別紙「取扱要領」の区分（Ⅰ～Ⅲ）から該当する番号を選択すること。
- 4 「延長理由」欄はプルダウン式になっている。別紙「奨学金支給期間延長の申請基準」の「番号」欄（1-①～③、2-①～②）から該当する番号を選択すること。
- 5 「推薦順位」欄は、申請区分（Ⅰ～Ⅲ）ごとに付すこと。
- 6 「氏名」、「生年月日」、「性別」、「現住所」、「電話番号」、「E-mail」欄は、申請書シートに入力すると自動的に反映される。なお、氏名の綴りはパスポートと同一となっていること。
- 7 「年齢」欄は「生年月日」から2013年4月1日現在の年齢が自動計算される。
- 8 「国籍コード」欄は別添の国籍コード一覧の番号を入力すること。「国籍」欄は、「国籍コード」を入力すると自動的に表示される。
- 9 「研究分野」はプルダウン方式になっている。総合領域、複合新領域、人文学、社会科学、数物系科学、化学、工学、生物学、農学、医歯薬学から選択すること。
- 10 「学位論文題目」欄は、申請書シートに入力したものが自動的に反映される。記入する学位論文は、修士進学予定の学部4年の者は学士論文、修士課程在学中で修士論文の題名が決まっていれば修士論文、未決定ならば学士論文というように、最新のものが入力されていること。
- 11 「申請時在籍機関」の「在籍年次」はプルダウン式になっている。該当する在籍年次を選択すること。
- 12 「2013年4月（又は10月）在籍機関・希望奨学金支給期間等」の「進学年次」はプルダウン式になっている。該当する進学年次を選択すること。
- 13 「奨学金支給期間」欄は、2013年4月（又は10月等）から在籍予定の課程の標準修業年限までの期間を入力すること。「奨学金支給月数」は年月を入力すると自動計算される。
- 13 「学業成績」欄は、最近の成績表をもとに100点満点に換算・算定し、総合評価が80点以上を「優」、79～70点を「良」、69～60点を「可」、59点以下を「不可」として評価し、プルダウン式になっているので、優・良・可・不可から選択すること。
- 14 「学業成績係数」欄は、別添4「学業成績係数の算出方法」により算出した係数（小数点以下第3位切り捨て）を入力すること。但し、申請区分Ⅰについては入力する必要はない。

なお、学業成績係数が算出出来ない場合は、算出出来ない理由及び学業成績係数が2.50以上に相当すると判断した具体的かつ客観的な根拠を「学業成績係数が算出出来ない理由」シートに記載すること。
- 15 「推薦理由」欄は、学力判定、研究業績等により、当該留学生在が推薦に値する人物であることを簡潔にまとめて入力すること（別添、別紙は添付しないこと）。

なお、本推薦様式が審査資料となるので、特に、推薦理由を明確に入力すること。